

ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり)

2016-08

設定来の運用状況について

2016年8月26日

平素は、「ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-08」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

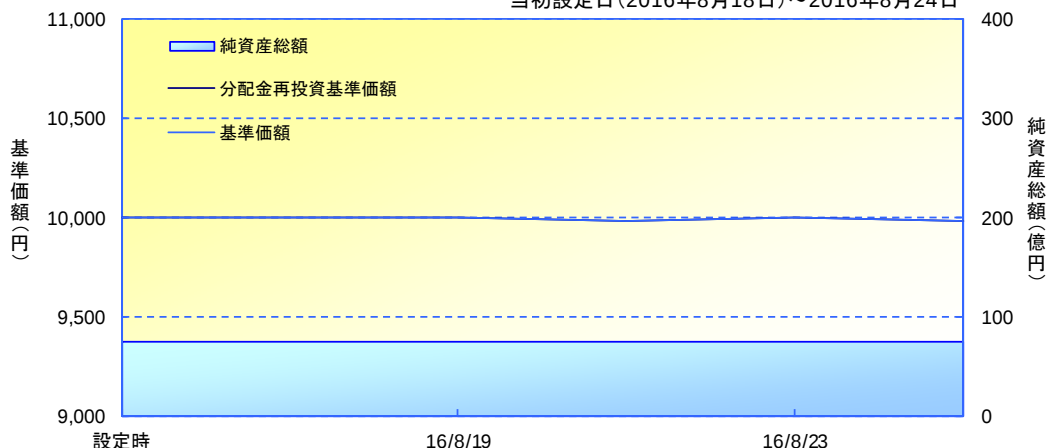
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年8月24日現在

当初設定日(2016年8月18日)～2016年8月24日

基準価額	9,981 円
純資産総額	75億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-0.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	23	91.3%
コール・ローン、その他※		8.7%
合計	23	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

債券 ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	2.6
最終利回り(%)	2.1
修正デュレーション	5.0
残存年数	5.5

※ポートフォリオ特性値は債券ポートフォリオに対する値です。為替ヘッジに伴うコスト等を考慮した値ではありません。

債券 種別構成		合計91.3%
種別	比率	
事業債	72.5%	
政府機関債	12.1%	
地方債	6.7%	

通貨別構成		合計100.0%
通貨	比率	
日本円	100.0%	
米ドル	-0.0%	

債券 格付別構成	
格付別	比率
AAA	7.2%
AA	39.6%
A	53.2%
BBB	---
BB以下	---
合計	100.0%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、日系発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順で格付けを採用し、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄				合計62.5%
銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率
Mizuho Financial Group Inc	米ドル	2.632	2021/04/12	7.8%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	米ドル	2.632	2026/07/14	7.7%
ORIX Corp	米ドル	2.65	2021/04/13	7.3%
Tokyo Metropolitan Government	米ドル	2	2021/05/17	6.7%
JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	米ドル	4	2021/01/13	6.6%
NTT Finance Corp	米ドル	1.9	2021/07/21	6.6%
JAPAN BANK FOR INTL. COOP.	米ドル	1.875	2026/07/21	5.5%
Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	米ドル	2.5	2020/03/09	5.0%
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	米ドル	3.85	2026/03/01	4.8%
Sumitomo Mitsui Trust Bank Ltd	米ドル	2.95	2018/09/14	4.5%

※比率は、純資産総額に対するものです。

＜ファンドマネージャーのコメント＞

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■市場環境

当ファンド設定前の米国債券市場では、イタリアの一部銀行の経営不安や、EU(欧州連合)離脱問題の影響が懸念される英国の一部不動産ファンドの解約停止など、主に欧州要因を背景にリスク回避姿勢が強まる局面も見られました。しかし、英国新政権の早期発足により政治的な不透明感が後退すると、市場は落ち着きを取り戻し、米ドル建て社債については世界的な金融緩和の継続期待にも支援され、スプレッド(米国国債との利回り格差)が縮小する形で利回りが低下(債券価格は上昇)傾向となりました。

■運用状況

当ファンド設定後は速やかに日系企業が発行する高格付けが付与された外貨建て債券の組み入れを行い、債券ポートフォリオの修正デュレーションは、当ファンドの残存年数と同程度に調整しました。ポートフォリオ構築に際しては、市場規模が大きく相対的に流動性の高い米ドル建ての債券に投資し、業種別では利回りに投資妙味のある金融セクターを中心に銘柄を選別しました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■今後の見通し

市場では英国のEU離脱問題に対するショックが収束しつつありますが、EUとの条件交渉が進展するまでは世界経済の先行き不透明感が強く、当面は世界的に資本フローが不安定になりやすいとみられます。また、グローバルな企業活動への悪影響も懸念され、発行体の信用力が問われる社債市場では再びボラティリティ(価格変動性)が高まる局面もあると考えています。ただし、こうした状況の下では、米国の利上げペースが緩やかなものにとどまるとみられるほか、ユーロ圏や英国、日本などでは金融緩和の強化が期待されるなど、世界的な金融緩和環境の継続が見込まれることから、米ドルなど外貨建て社債の投資環境は大きく悪化しないものとみています。また、世界的な低金利環境で、より高い利回りを求める投資資金の流入も引き続き期待され、社債市場を支援すると考えています。

今後の運用に際しては、現状の組入債券の継続保有を基本として利回りの実現を重視し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指す方針です。

以上

ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-08

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資します。※社債等は劣後債を除きます。
 - 日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。
 - 社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。
 - 投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。必ずしも、上記通貨のすべてが組入れられるわけではありません。
 - 流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、上記通貨建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。
 - 外貨建て社債等の格付けは、取得時においてA格相当以上とします。
 - ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンドの残存年数+0.3(年)以内とすることをめざします。
2. 「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」および「部分為替ヘッジあり」の3つのファンドがあります。
 - 「為替ヘッジあり」は、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - 「為替ヘッジなし」は、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。
 - 「部分為替ヘッジあり」は、保有実質外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけることをめざします。
※為替ヘッジしていない部分については、為替変動の影響を受けます。

※「為替ヘッジあり」および「部分為替ヘッジあり」については、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・ マザーファンドは、「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド 2016-08」です。
 - ・ マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用については、次頁をご覧ください。

ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-08

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.54% (税抜 0.5%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会